

おやゆび姫物語 (1992)

メディア TV アニメ

ジャンル ファンタジー

製作国 日本

TV放映 1992/09/30 ~ 1993/03/31
テレビ東京

【解説】

前作『長靴をはいた猫の冒険』に続くエノキフィルムの世界の名作アニメ化路線の新作。内容はH・C・アンデルセンの同題の原作を元にしながら、かなりひねったものになっている。甘えん坊でわがままな少女マーヤ。彼女の将来を案じる母親は、ある日、魔法使いの老婆から不思議な魔法の絵本を授かる。その絵本を読んで聞かせればマーヤが良い子になると言われた母親は、娘の脇で読み始めるが、本の持つ魔法の力でマーヤは絵本の物語の世界にとびこんでしまう！ 本の世界の中で小さな《おやゆび姫》となったマーヤの前に、狼ほどのサイズになった野ネズミが姿を見せた。マーヤは果たして自分の世界に、お母さんのもとに戻れるか？ 同時期に『スペース・オズの冒険』のTV放映を開始したエノキフィルムによる、同じく従来の名作物語のバリエーション譚を求めた意欲作である。監督は『ワンサくん』『成恵の世界』などの演出家・森田浩光が就任。

【クレジット】

監督	森田浩光
演出	成川武千嘉
絵コンテ	竜ヶ崎一
企画	榎善教
プロデューサー	鬼丸一平
制作	榎善教
原作	ハンス・クリスチャン・アンデルセン Hans Christian Andersen
シリーズ構成	酒井あきよし
脚本	柳川茂
キャラクターデザイン	森野うさぎ
作画監督	本木久年
撮影監督	福田岳志
特殊効果	千場豊
美術監督	脇威志
色指定	三橋曜子
音楽	村上浩司
音楽制作協力	ホリプロダクション
声の出演	かないみか 山田恭子 麻上洋子 上田敏也